

「地域密着型サービスを考える」 in ほっかいどう 2012

藍川由美 特別研究講演と実践指導

心のうた、日本のうたを家庭、社会、地域に広げる 「日本人にとっての音楽療法を考える」

日本のうたの研究・歌唱の第一人者でもある「藍川由美」氏による音楽療法の講演と実践指導が行われます。藍川氏は、音楽療法・日本のうた歌唱法『藍川メソッド』を考案。藍川式呼吸法で、誰にでも簡単にできる音楽健康法を体感してみませんか。正しい呼吸法を身につけ、健康で楽しい人生を送りましょう。

プロフィール

東京藝術大学にて声楽(ソプラノ)の分野では我が国初の博士(音楽)号を取得。
平成四年度文化庁芸術祭賞を受賞。
これまで国内外で数々のリサイタルを開催。また音楽祭、テレビ、ラジオにも多数出演。
1985,91年 訪米し演奏。中でも85年「東京都ニューヨーク市姉妹都市提携25周年記念カーネギー・ホール公演」での独唱は、NYタイムズ紙上等で高く評価された。
1994年「天皇陛下御還暦奉祝会」(宮内庁講堂)でのリサイタルで御前演奏。
1999年「天皇陛下御即位十年奉祝記念式典」(皇居前広場)にて国歌独唱。
著書に『これでいいのか、につぼんのうた』『演歌のススメ』(以上、文春新書)、教則CD『日本のうた歌唱法1,2』があるほか、『日本の唱歌』『日本の童謡』などの編集及び楽譜校訂を手掛け、日本の歌の第一人者として執筆と演奏を活動の両輪としている。
2007年「藍川式呼吸法」を軸とする『藍川メソッド』出版。学校教師や音楽講師を対象とする講習会を行なうほか、介護の現場でも活用され好評を博している。
2009年には、日本予防医学会「公開シンポジウム」(千葉大学)で講演、演奏を行なう。
2012年2月「道南自立生活支援センター設立記念『音楽療法講座』」(七飯町)で講演。
現在、36枚のソロアルバムをリリースしている他、共演CDも多い。



学術博士・声楽家

子どもも大人もゲーム感覚で楽しめる『藍川メソッド』は音楽療法を実践する前に身につけておくべき呼吸法や身体運動を図解したCD付き書籍として好評を得ている。



2007年より(元)宮内庁式部職楽部首席楽長 岩波滋氏に古代歌謡と和琴を師事。
2010年には「催馬楽和琴譜」を世界初録音したほか「うたの寺子屋」やワークショップなどで和琴(わごん)の弾き歌いによる日本最古の音楽の演奏を披露している。



平成 24 年 3 月 20 日 (火・祝) 13:00 開講
札幌プリンスホテル 国際館パミール 6 F 日高の間